

ワールドマスタースゲームズ 2017 オークランド大会への参画・視察等について(報告)

2021 関西大会の直前の大会となる 2017 オークランド大会に参画するとともに、開閉会式や競技を視察することにより、「大会運営のノウハウ吸収とマスタース文化の体験」「関西大会の海外への P R と国内機運の醸成」を図るため、下記のとおり、オークランドへの派遣を実施した。

記

概要

1. 視察団の構成と日程

開会式団

派遣期間：平成 29 年 4 月 19 日（水）～ 4 月 23 日（日）

参加者：井戸会長をはじめ、構成府県政令市の代表やその関係者等、約 70 人

概要：開会式や I M G A 関連行事への参加、関西大会 P R イベント、競技視察など

閉会式団

派遣期間：平成 29 年 4 月 27 日（木）～ 5 月 1 日（月）

参加者：森会長をはじめ、関西経済界を中心に約 150 人

概要：閉会式への出席及び大会旗引継ぎ、競技視察など

府県市等による個別競技視察

2. P R ブース設置

設置期間：平成 29 年 4 月 16 日（日）～ 4 月 30 日（日）

設置場所：クイーンズワーフ クラウド正面

3. その他広報活動

内容

1. 開会式団

2. 閉会式団

3. 府県政令市・団体による競技視察

4. 関西 P R ブースによる広報活動

(1) 関西 P R ブース

(2) オークランド大会日本人参加者による関西大会 P R 協力

5. その他広報活動

< 参考 > オークランド大会状況

1. 開会式団

実 施 日 平成 29 年 4 月 19 日（水）～ 23 日（日）

主な参加者	井戸 敏三	WMG組織委員会 会長	（兵庫県知事）
	三日月大造	同	副会長（滋賀県知事）
	山田 啓二	同	副会長（京都府知事）
	仁坂 吉伸	同	副会長（和歌山県知事）
	平井 伸治	同	副会長（鳥取県知事）
	新井 純	大阪府副知事	
	一松 旬	奈良県副知事	
	海野 修司	徳島県副知事	
	村上 圭子	京都市副市長	
	若林 陽介	国土交通省近畿運輸局長	

ほか

主な日程

日程	時刻	概要（主な行事予定等）
4 月 19 日(水)	(移動)	伊丹空港出発(14:10)・成田空港出発(18:30)
20 日(木)	朝 午後 夜	オークランド到着 オリエンテーション、関西 P R ブース視察等 I M G A との懇談
21 日(金)	午前 午後 夜	大会競技視察 オークランド市長との面談 オークランド大会開会式視察
22 日(土)	午前 午後	大会競技視察 関西 P R イベント
23 日(日)	(移動)	オークランド発

概 要

ア．オリエンテーション・関西 P R ブース等視察

- 日 時：平成 29 年 4 月 20 日(木) 13:30～16:00
- 場 所：メルキュールホテル内 会議室、イベント会場（クイーンズ・ワーク・クラウド）
- 参加者：
井戸会長ほか開会式団参加者、在ニュージーランド日本国大使館 高田大使、
在オークランド日本国総領事館 横山総領事、オークランド日本人会 橋本会長 等
- 内 容：

（オリエンテーション）

「今回のオークランド大会は、次期開催の我々関西が学ぶ場である。大いに学んで

帰りたい。」などと挨拶の後、横山総領事から、「ニュージーランド及びオークランド情勢等」について、日本との政治経済上の結びつきの強さ、スポーツ大国としての同国の戦略等の説明を受けた。続いて関西大会組織委員会事務局からオークランド大会の競技及び参加者等についての報告とともに、現地における関西大会のPR状況等の説明を行った。

さらに、オークランド日本人会（会員数約 450 人）の橋本直江会長から同会の交流活動の状況等を説明いただき、最後に高田大使が挨拶され、「自分もニュージーランドでラグビーW杯日本大会やWMG関西大会をPRしている。JET プログラムで日本にいる外国人によるボランティア協力も活用するべき。」などと提案があった。

（関西PRブース視察等）

関西PRブースは、大会の期間中、選手受付・イベント会場の入り口に隣接し、人目を引く場所に設置され、関西大会の会場地を示すポスター展示やPR映像の上映、関西の府県政令市の観光パンフレットの配布のほか、伝統文化の紹介・体験（折り紙）等を実施している。イベント会場への行き帰りに多くの参加者がブースに立ち寄り、熱心に担当者の説明を聞くとともに、満開の桜の写真の前で関西大会の公式マスコット「スフラ」との記念撮影等を楽しんでいた。当該ブースの運営やPR活動には、日本人留学生やオークランド日本人会の方々にボランティアとして積極的に協力いただいております、イベントの盛り上げ等に大いに活躍されていた。

また、クラウドと呼ばれるイベント会場では、大会の参加者受付窓口のほか、公式グッズの販売や飲食コーナーなどといった様々なブースが設けられ、各国からの競技参加者や観光客の交流の場として賑わっていた。



イ．大会関係者との面談等

国際マスターズゲームズ協会との懇談

- 日 時：平成 29 年 4 月 20 日（木）19:30～21:15
- 場 所：在オークランド日本国総領事公邸
- 参加者：

（IMGA）

カイ・ホルム会長、ボブ・エルフィンストン理事、イエンス・ホルム事務局長、サマンサ・ヘイワード部長

（組織委員会）

井戸会長、三日月副会長、山田副会長、仁坂副会長、新井大阪府副知事、一松奈良県副知事、海野徳島県副知事、村上京都市副市長、大西事務局長 ほか

（国）

鈴木スポーツ庁長官、若林近畿運輸局長、高田ニュージーランド大使、横山オークランド総領事

- 内 容：

（鈴木長官）

鈴木スポーツ庁長官から「2019 年ラグビーW杯、2020 年東京オリンピック・パラリンピックとスポーツを支える、見る国際大会の日本開催が続く。自分も今回 10km マラソンに出場するが 2021 年のWMG関西は皆で参加する大会にしていきたい。」

との挨拶があった。

(カイ・ホルム会長)

カイ・ホルム会長は「IOCとIMGAが覚書を調印するなど、WMGに世界の目が向けられている。関西大会は、五輪の次年にWMGを行う最初の良いサンプルとなる。日本を心から信頼しており、関西大会の成功を祈る。」と述べた。

(井戸会長)

IMGAに対し関西PRブースの設置について謝意を伝えるとともに、「オークランド大会はスマートな運営をされている。閉会式には、関西経済界がチャーター機で訪問する。大会旗とオークランド大会の成果をしっかりと関西大会に引き継いでいきたい。」と大会の成功に向けた決意を述べ、その後、温かい雰囲気の中、歓談が行われた。



オークランド市長との面談

○ 日 時：平成 29 年 4 月 21 日（金）15:00～15:20

○ 場 所：オークランド市役所

○ 参加者：

（オークランド市）

ゴフ市長、ブレット ATEED CEO ほか

（組織委員会）

井戸会長、三日月副会長、山田副会長、仁坂副会長、平井副会長、新井大阪府副知事、一松奈良県副知事、海野徳島県副知事、村上京都市副市長、大西事務局 局長 ほか

（国）

鈴木スポーツ庁長官、高田ニュージーランド大使、横山オークランド総領事

○ 内 容：

（ゴフ市長）

ゴフ市長からは「大会の開催にむけてミスがないように取り組んできた。オークランド市民や市役所は、温かいおもてなしができるよう頑張っている。開会式もエキサイティングなものになると期待している。」と歓迎の挨拶が述べられた。

（井戸会長）

3月のオークランド市での大雨被害に対する見舞いの言葉の後、「実際に競技を視察



し、参加者が活躍する姿を見てWMGは素晴らしいと感じた。リピーターが多い大会であり、オークランド大会参加者が関西大会にも参加いただけるよう今回PRに力を入れている。オークランド大会の成功を祈念する。」などと述べ、オークランド市と姉妹都市である加古川市との交流の進展等を含め、各方面にわたり意見交換を行った。

ウ．競技視察

○ 視察日：平成 29 年 4 月 21 日(金)、22 日(土)

○ 内 容：

ソフトボール、水泳、ワカアマ(叔-)、バドミントン、ウエイトリフティング、バレーボールなどの各競技会場を訪問し、会場における競技参加者同士の交流の仕掛けづくりや競技運営のノウハウ等について現地視察を行った。

各競技は、グレード別、年齢別などでグループ分けがなされ、それぞれのグループ毎に順位が付き、上位選手にメダルが授与される。

(ソフトボール)

会場の“North Harbour Softball Stadium”は、観客スタンドを擁するスタジアムとソフトボール場が 16 面とれる全面芝生グラウンドからなり、多くの試合を同時に行うことができるソフトボール専用施設である。競技運営は競技団体が担うが、参加チームの受付などは地元ボランティア等により運営されていた。受付を済ませ試合準備中であったオーストラリアや南アフリカ等から参加の女子選手やコーチなどに対し、関西大会をPRするとともに意見交換を行った。



(水泳(競泳))

会場は、オークランド工科大学の複合スポーツ施設群である“AUT Millennium”。その中の一棟にある 50m × 10 レーンの広いプールで競泳競技が実施され、ここでも競技の運営自体は多くのボランティアに支えられていた。視察時に行われていた女子 800 m 自由形競技には 79 歳の日本人が出場されており、同選手に向けて観客席から大きな声援を送った。



(ワカアマ(カヌー))

片脇に浮子(舳)のついた南半球特有のカヌーのレース競技「ワカアマ」は、ドラゴンボート等とともに、オークランド市街地近郊の静寂な淡水湖“ Lake Pupuke ”で実施。参加者は自身のカヌーを車等で牽引して会場に運び、湖岸に思い思いにテントを張るなどしてレースを観戦しながら試合前の調整を行っていた。また、レースの様子は、競技運営ブース内の放送席から会場に向けて実況中継されていた。



(バドミントン)

バドミントンはA(世界選手権レベル)からC(一般参加レベル)の3つのグレードに会場を分けて実施され、視察した“ North Harbour Badminton Centre “はCグレードの会場。コート10面が並ぶ専用センターであるが、地域の日常的な練習場として活用されている体育館であり、施設内の食堂では選手同士が交流するなど、ボランティアの手によるコンパクトでフレンドリーな運営がなされていた。



(ウェイトリフティング)

会場は、水泳と同じ“ AUT Millennium ”内の体育館。「ウェイトリフティング世界マスターズ選手権」の共催大会として実施され、往年のオリンピックメダリスト等も競技に出場しているとのことであった。世界選手権であることから競技運営自体は国際競技団体の手によりなされていた。視察時には80歳を超える2名の日本人選手が出場中であり、関西大会応援大使・武井 壮氏らとともに観客席からこれら選手を激励した。



(バレーボール)

“ The Trusts Arena ” という主にコンサートやスポーツイベントを開催する多目的スタジアムを会場とし、男女、年齢別に7面のコートを使って同時に試合が実施されていた。1コート数名のボランティアが競技をサポートし、選手の家族など観客は、選手が間近で見られるようコートの周囲に設置された応援席から声援を送っていた。



(ローンボウルズ)

関西大会においてデモンストレーション競技として神戸市及び明石市での開催が予定されているローンボウルズの会場 (Carlton Cornwall Bowling Club) を訪れ、同クラブの Nick Krajancic 会長並びに認定 NPO 法人ローンボウルズ日本の森理事長からローンボウルズのルールや歴史、国際的な競技規模等について説明を受けるとともに、関西大会での競技実施に向けた意気込みを伺った。



今回、視察を行った各会場では、自ら手書きのサインをした関西大会PRカードを配りながら「是非とも関西大会に出場してください。」と多くの参加者に声をかけ、積極的に大会のPRを行った。

【関西大会PRカード】

(表面)



(裏面)



エ．開会式参加

- 日 時：平成 29 年 4 月 21 日(金) 19:30～21:00
- 場 所：イーデンパーク（第 1 回、第 7 回ラグビー-W杯決勝戦会場）
- 参加者：
（組織委員会）

井戸会長、三日月副会長、山田副会長、仁坂副会長、平井副会長、新井大阪府副知事、一松奈良県副知事、海野徳島県副知事、村上京都市副市長、大西事務局長 ほか

（国等）

鈴木スポーツ庁長官、若林近畿運輸局長、高田ニュージーランド大使、横山オークランド総領事、泉 日本体育協会専務理事、山田 日本障がい者スポーツ協会常務理事、橋本オークランド日本人会会長 ほか

○ 内 容：

開始前からマオリグループによる音楽ショーが催され、会場が盛り上がる中、19 時 30 分に開会式が開始された。各国から集まった参加選手は、国別ではなく競技種目ごとに配席されたスタジアムの自席から開会式のセレモニーを観覧した。

最初に今大会実施全 28 種目の競技名が読み上げられ、マオリ族による民族舞踊が披露された後、大会組織委員会会長のウェルズ卿、ニュージーランドのイングリッシュ首相、オークランド市のゴフ市長らが登壇し「大会を大いに楽しんでほしい」とマオリ語を交えながら出場選手らを激励した。

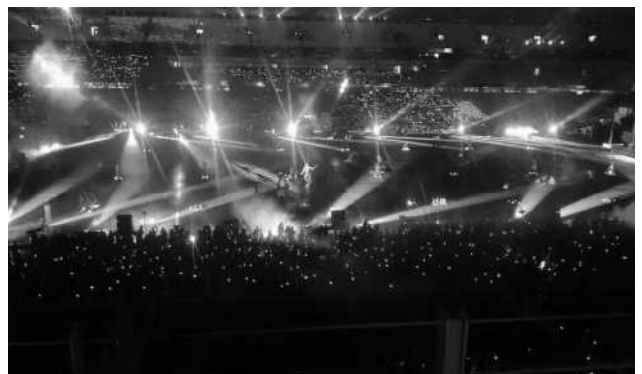


引き続き、大会旗の掲揚、宣誓、ニュージーランド国歌斉唱が行われ、イングリッシュ首相により開会が宣言された。その後、華やかなレーザー光と音楽のショーが繰り広げられる中、選手や観客合わせて約 3 万人の参加者全員に事前に配られ、各人が手首に巻いたリストバンド型 LED ライトが、イベントプログラム

の音楽と演出に連動して様々な色に発光、点滅を繰り返し、会場全体が一体感に包まれた。

式の終盤、種目ごとに競技名がコールされた選手達は、観客席からイーデンパークのフィールドに降り、各自めいめいに国旗やユニフォーム等を掲げながら一団となって競技場内を練り歩き、開会式の会場を後にした。

開会式団は、スタジアムの 4 階の観覧室において、大会アンバサダー数名によるスポーツに関わるショートディスカッションを聴取するとともに I M G A のカイ・ホルム会長やブブカ理事をはじめとする多くのマスターズ関係者と歓談しながら、これらグラウンドにおける開会式のパフォーマンスを視察した。



オ・鈴木スポーツ庁長官の 10km マラソン出場

4月22日(土)早朝には、鈴木大地スポーツ庁長官が 10km マラソンに出場した。

関西PRブース付近のマラソンスタート地点において、各府県の知事等とともにスタート前の鈴木長官を激励し、参加者全員で「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西、がんばるぞ!」と氣勢を上げた。



鈴木長官は、約 370 人の選手が参加する中、沿道の声援に手を振りながら自身初めての 10km マラソンを 1 時間 2 分 3 秒のタイムで完走。競技後のインタビューにおいて「水泳選手の私が 10km マラソンに参加したことにマスターズの面白さ、良さがある。2021 年は皆が参加するスポーツイベントになればいい。」などと述べた。



カ．関西大会 P R イベント

○ 日 時：平成 29 年 4 月 22 日（金）15:00～15:30

○ 場 所：関西 P R ブース（クイーンズワーフ内）

○ 出席者：

（組織委員会）

井戸会長、仁坂副会長、平井副会長、海野徳島県副知事、村上京都市副市長、大西事務局長ほか

（国）

鈴木スポーツ庁長官、高田ニュージーランド大使、横山オークランド総領事

○ 内 容：

関西大会開催の機運の醸成及び大会認知度の向上を図るため、オークランド大会の参加者等に対して、WMG 2021 関西の P R を行った。

井戸会長より「次回大会はアジアで初めて日本の関西で開催する。地域全体で皆さんをお迎えするので 4 年後の関西大会にも是非参加してください。」と参加者に呼びかけた後、関西 WMG 組織委員会及び国等の出席者で鏡開きを行い、続いてイベント会場を訪れた各国からの来場者に振る舞い酒が配られ、関西大会 P R ブースは多くの参加者で賑わった。



さらに関西大会で初めて開催されるグラウンド・ゴルフを紹介するため、井戸会長、平井副会長による始球式の後、一般の来場者を対象とした体験会が実施され、多くの外国人がグラウンド・ゴルフを体験した。



2. 閉会式団

実 施 日 平成 29 年 4 月 27 日（木）～ 5 月 1 日（月）

団 構 成 森詳介関西ワールドマスタースゲームズ 2021 組織委員会会長をはじめ、
関西経済界（関西経済連合会・大阪商工会議所・関西経済同友会・京
都商工会議所・神戸経済同友会の会員企業）行政関係者、マスコミ関
係者等 145 名で構成

主な日程

日程	時刻	概要（主な行事予定等）
4 月 27 日(木)	(移動)	関西国際空港出発（21:00）
28 日(金)	朝 午後 夜	オークランド到着 クイーンズワーフ(交流拠点)、関西 P R ブース視察等 オリエンテーション、I M G A との夕食会
29 日(土)	終日	市内視察・競技視察
30 日(日)	午前 午後 夜	オークランド観光・イベント・経済開発局セミナー エンタメハブ視察など 閉会式（大会旗引継ぎ・会長スピーチほか）
5 月 1 日(月)	(移動)	オークランド国際空港発（10:30）

概 要

ア．オリエンテーション

○ 日 時：平成 29 年 4 月 28 日(金) 18:00～18:20

○ 場 所：スタンフォードホテル

○ 参加者：

森会長、陰山副会長、大林副会長、木下事務総長 ほか

○ 内 容：

木下事務総長から挨拶の後、森組織委員会次長から開会式・競技・交流の場等の
映像を交えながらオークランド大会前半を紹介。

明日の競技視察を前に開会式や選手交流の様子を映像で紹介したことで、参加者
からは大会の盛り上がりがよくわかったとの声が多くあり好評であった。

イ．国際マスタースゲームズ協会（I M G A）との夕食会

○ 日 時：平成 29 年 4 月 28 日(金) 18:20～20:00

○ 場 所：スタンフォードホテル

○ 参加者：

（I M G A）

カイ・ホルム会長、イエンス・ホルム事務局長、サマンサ・ハイワード部長

（閉会式団）

森会長、陰山副会長、大林副会長、木下事務総長 ほか

○ 内 容：
(森会長)

森会長から「オークランドの地に降り立ち、4年後に関西で開催する実感が湧き上がってきた。大きな国際大会に育てられたカイ会長をはじめとするI M G Aの皆様



様に敬意を表する。I M G Aと関西の絆を強固なものとし、4年間歩調を合わせて進んでいきたい。オークランド大会から多くのことを学び、大会旗と多くの知見を持ち帰らねばならない。訪問団員は明日から実り多い視察となるようお願いする。」との挨拶があった。

(カイ・ホルム会長)

カイ・ホルム会長は、「次期開催国の日本から多くの方々に訪問いただき感謝する。2021年の開催は楽しみであると同時に非常に特別な大会になるであろうと感じている。特に、東京2020の後の開催であることから、日本政府からかなりの支援があることを期待している。東京2020からのレガシー継承も素晴らしいものになるであろう。I M G Aは皆様と協力して関西大会を成功させたい。今から非常に楽しみである。協力によって素晴らしい大会になるのは間違いない。10月にまた日本で会いましょう。」との挨拶があった。



その後、蔭山副会長から乾杯の挨拶の後、懇談が始まり、訪問団企業間での意見交換等についても積極的に行われた。



ウ．市内視察、競技視察

- 日 時：平成 29 年 4 月 29 日（土） 複数班にわかれて実施
- 内 容：
 - （第 1 班）市内視察後、ラグビー、卓球等を視察
 - （第 2 班）市内視察後、陸上、バレーボール等を視察
 - （第 3 班）市内視察後、テニス、サッカー、卓球等を視察
 - （第 4 班）市内視察後、卓球、バドミントン等を視察



エ．オークランド観光・イベント・経済開発局セミナー

- 日 時：平成 29 年 4 月 30 日（日） 10:00～11:30
- 場 所：A T E E D
- 参加者：
 - （N Z 側）
 - イアン・ケネディ N Z 日本関係政府特使・日本 N Z 経済委員会会長、ブレット・オライリー ATEED・CE、メイン・ナガリミュ メジャーイベント担当部長 ほか
- 内 容：
 - （ケネディ特使）

ケネディ特使から、歓迎のあいさつの後、日本とニュージーランドとの関係概要について説明があった。
 - （オライリー ATEED/CE）

オライリー C E から、「オークランドは 9 年前に市統合し急発展中である。日本人を含む他民族で人口が成り立っており、住みたい街の世界第 3 位である。居住希望者も増え不動産価格も高騰している。関西では、加古川市と姉妹都市提携をし、主要なイベントも加古川市で開催したこともある。」等、オークランドの経済状況及び A T E E D の役割について説明があった。
 - （ナガリミュ ATEED/メジャーイベント担当部長）

ナガリミュメジャーイベント担当部長から、「W M G 大会中にビジネスプログラムを組んだ最初の都市である。大会を契機に、国際イベントができる都市であることを P R している。スポーツ＋ビジネス＝効果大と考えており、参加者をマオリ船（ワカ）に乗せてスポーツテクノロジーを経験したりしてもらっている。A T E E D の



データベースでは、大会参加者の 10% がビジネスに興味があると出ている。」等、オークランド主要イベントについて説明があった。

(松本関経連副会長)

松本副会長からは、「日本では、2019 年からゴールドスポートイヤーズとなり、また、2025 年には日本で万博を開催すると表明したところである。ニュージーランドは B I E メンバーであることから、ケネディ特使におかれてはご協力をお願いする。関西大会を一過性のイベントではなく、経済成長や産業成長はもちろんのこと、レガシーも重要であり様々なものを遺したい。オークランドと関西のますますの交流発展を期待している。」との挨拶があった。



オ．閉会式参加

- 日 時：平成 29 年 4 月 30 日(日) 18:30～19:30
- 場 所：クラウド
- 参加者：

森会長、陰山副会長、大林副会長、木下事務総長 ほか

- 内 容：

カイ・ホルム国際マスターズゲームズ協会 (I M G A) 会長から森詳介会長へ大会旗が引き継がれた後、ジョン・ウェルス W M G 2017 組織委員会会長から森会長へ、船出を意味するパドルのマオリ彫刻が贈られた。それに対し、関西からは日本の伝統工芸品である手描きの鯉のぼりを返礼し、「4 年後に向けてアスリートやそのご家族、ご友人にも最高の環境を整える。関西は世界遺産や自然の宝庫。食文化も有名である。治安に優れ、夜までお買い物や食事を楽しめる。2021 年 5 月に関西でお会いしましょう。」とのスピーチを行い、アジアで初めて、関西で開催される第 10 回への期待を高めた。





そのほか、マオリのバンド演奏やショー、大会のダイジェスト映像、地元の和太鼓ショーの演出により、会場は大いに盛り上がり、大会は閉幕した。



3. 府県政令市・団体による競技視察

各府県政令市及び中央競技団体等により、それぞれの日程で競技視察を行った。

府県政令市 11 団体・123 名 （組織委員会把握分） （名）

	府県政令市 (開閉会式団除く)	開催地 競技団体	開催市町
滋賀県	4	9	8
京都府	2	1 9	1
兵庫県	3	6	9
奈良県	2	2	2
和歌山県	4	4	0
鳥取県	4	3	1
徳島県	5	4	6
京都市	3	7	—
大阪市	2	-	—
堺市	2	1	—
神戸市	2	8	—
合計	3 3	6 3	2 7

中央競技団体 19 団体・27 名

(公財) 日本体育協会 1 (公財) 日本障がい者スポーツ協会 1 (公財) 日本陸上競技連盟 2
 (公財) 日本自転車競技連盟 2 (公財) 日本バレーボール協会 1 日本ビーチバレーボール連盟 2
 (公財) 全日本軟式野球連盟 1 (公財) 日本セーリング連盟 2 (公財) 日本バドミントン協会 3
 (公社) 日本グランド・ゴルフ協会 1 (公社) 日本ホッケー協会 1 (一財) 全日本野球協会 1
 (公社) 日本カヌー連盟 1 (公社) 日本スカッシュ協会 2 (公社) 日本トライアスロン連合 1
 (公財) 日本ソフトテニス連盟 2 (一社) 日本ドラゴンボート協会 1 (公財) 日本サッカー協会 1
 (一社) 日本クレー射撃協会 1

競技会場視察（総括）

ア．競技運営



- ・オークランド大会では、競技会運営を組織委員会から各競技団体やスポーツイベント会社へ委託しており、競技別実施要項の作成や競技会の準備、会場しつらえを含む運営に関して、受託者が広範囲な裁量を持って運営していた。
- ・競技役員や審判、ボランティア等、必要最小限の人数で運営していた。
- ・審判資格は国際審判員から無資格者（参加者のセルフジャッジ）と様々だった。
- ・競技会運営ボランティアは、競技団体の競技補助員と一般参加者とで構成され、その年齢層は学生から熟年者まで様々だった。
- ・各競技会場での結果発表は、プリンターによる張り紙がベースとなっていた。ただし、競技団体によっては、即時 WEB 更新されるシステムを導入するなど、WEB による競技結果の発信方法は様々だった。
- ・表示やアナウンス等はすべて英語による運営だった。2021 年大会は言語対応が課題である。
- ・競技会場までの公共交通機関によるルートがない場合（オリエンテーリングや射撃）の対応として、組織委員会運営のシャトルバスが運行されていた（ただしシルバークラス以上のみが利用可能）。
- ・競技会の運営時間に関して、開始が早い競技（トライアスロン等）では 7 時半から、終了が遅い競技（バスケットボール等）では 21 時頃まで競技が行われていた。
- ・総じて必要最小限の運営である印象（例えば国体比較）。2021 年大会はオークランド大会をベースに、どう運営にメリハリを持たせるかを検討することが重要である。

イ．競技会場設備



- ・大会の開催に合わせて、新設された大規模な競技会場もあったが、その他は既存の公共施設や大学施設を有効に活用していた。
- ・競技会場の立地に関して、公共交通機関による市内中心部からの所要時間は、33 会場で 45 分以内、9 会場で 90 分以内に到着、また 6 会場で 90 分以上を要する。なお、距離としては最長で市内中心部から 150 km 弱であった（ボート競技）。
- ・仮設設備等に大きな経費をかけているようには見受けられなかった（例えばソフトボール会場では仮設の外野フェンスは設けずにコーンを並べているだけ）。また、会場装飾は、各競技別の「のぼり」や大会共通の「横断幕」が中心で、華美なものは無かった。その他、協賛表示や会場サイン関係、ごみ箱等を共通物品として

組織委員会から各競技会場へ配布していた。

- ・施設にもともと備わっている設備以外に、大会のための特別なユニバーサル対応は見受けられなかった。
- ・一部会場では競技用具の販売も行っていた（トライアスロン会場等）。

ウ．救急・救護体制



- ・各会場では、救急・救護体制を整えており、多くの会場では緊急の場合に備え救急車が待機していた。また、病院への搬送の要否等を判断するため、看護師が大半だが医師を配置している競技会場もあった。
- ・選手の体をケアするため有料のマッサージや理学療法を行っていた。

エ．ドーピング検査

- ・「陸上」、「トライアスロン」、「ウェイトリフティング」、「オリエンテーリング」で実施を確認した（その他競技は未確認）。なお検体数については不明。
- ・Drag Free Sports NZ（NZ 政府出資の団体）が組織委員会からドーピング検査を受託していた（日本の場合は JADA が検査実施予定）。

オ．パラ競技

- ・11 競技（アーチェリー、陸上競技、バドミントン、カヌー、自転車、ローンボウルズ、ボート、競泳、卓球、テニス、トライアスロン）でパラ競技の設定があり、61 名がエントリーしていたが、エントリーが無く実施されなかったパラ競技（上記のうち、バドミントン、卓球、テニス）もあり、結果として8 競技で延べ72 名が参加した（当事務局調べ）。

カ．表彰式等



- ・競技全体で 3,840 のカテゴリーがあり、合計 26,000 個のメダルを準備したとのこと。
- ・入賞を逃した選手を家族が労うためなどのレプリカメダルは、過去大会と違い販売されていなかった（競技団体の反対による）。
- ・競技ごとに行われる開始式などは世界選手権を兼ねた競技（オリエンテーリング・ウェイトリフティング）を除き実施されている様子はなかった。
- ・年齢カテゴリーごとにメダルと帽子を授与し、写真撮影を行って終了、という流れで実施していた（国旗を掲揚した競技もあると聞いている）。
- ・表彰式に参加しなかったチーム又は選手へのメダル授与はなかった。ただし、参加したチームメンバーであっても、チーム帯同の審判やスコアラーにはメダルの授与はなかった。

キ．参加者の交流の場



- ・競技会場内のクラブハウスや飲食エリア等が選手交流の場となっていた。また、屋外競技では、移動販売車による飲食物の販売のみの会場もあったが、大型のテント等を設置し交流の場を設けるなど、競技だけではなく交流を楽しむ大会であることが見受けられた。

ク．観戦者

- ・観戦者は、参加者と家族・知人等が大半であり、一般の観戦者はほぼ見受けられなかった。また会場のキャパシティーに起因する入場制限を競泳では行っていたが、その他の競技では入場制限は見受けられなかった。
- ・大学施設を利用している会場等では、そもそも観客席自体が無い競技会場も見受けられた。

4. 関西PRブースによる広報活動

(1) 関西PRブース

設置期間 平成29年4月16日(日)～4月30日(日)15日間

設置場所 クイーンズワーフエリア クラウド正面

活動実績 関西PRブースエリア来場者数 141,207人

アンケート回答数 4,001人

ボランティアの活用

在オークランド日本人会の方々やニュージーランドに留学している日本人学生が、ボランティアとして各種業務を支援。

- ・ 関西ブースでのPR活動等 30名
- ・ 各競技会場での視察補助(通訳、映像記録等) 9名
- ・ 事務局本部での連絡等対応 8名

実施日	オープン時間	PRブースエリア内	PRブース内	アンケート回答
16日(日)	13:00～17:00(4h)	5,351人	531人	81人
17日(月)	13:00～17:00(4h)	7,127人	496人	170人
18日(火)	8:00～18:00(10h)	8,201人	1,074人	288人
19日(水)	8:00～18:00(10h)	8,765人	1,102人	267人
20日(木)	8:00～18:00(10h)	10,090人	1,166人	272人
21日(金)	8:00～17:00(9h)	8,321人	1,009人	251人
22日(土)	7:00～18:00(11h)	10,829人	804人	152人
23日(日)	6:00～18:00(12h)	12,350人	1,526人	283人
24日(月)	10:00～18:00(8h)	3,619人	478人	264人
25日(火)	13:00～18:00(5h)	9,837人	829人	310人
26日(水)	10:00～18:00(8h)	7,060人	1,024人	220人
27日(木)	10:00～18:00(8h)	9,229人	949人	285人
28日(金)	10:00～18:00(8h)	11,419人	1,318人	302人
29日(土)	10:00～18:00(8h)	3,635人	739人	266人
30日(日)	10:00～18:00(8h)	25,374人	2,662人	590人
合計	123h	141,207人	15,707人	4,001人

< 来場者からの主な質問 >

- ・ K A N S A I ってどこ？
- ・ 移動方法について
 - ・ 複数競技に参加する場合、地域が離れているが移動に問題はないのか。
- ・ ボウリングの種類（ N Z ランドでは通常ボウリングはローンボウル）
- ・ ネットボール、タッチボールはないのか。
- ・ 宿泊施設は確保できるのか。費用はどれくらいか。
- ・ 2021年大会の受付はいつからか。 ほか



P R ブース内フォトパネルの様子



P R ブース全体図



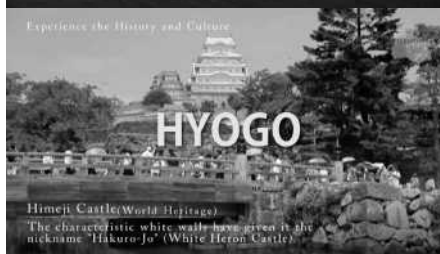
ブース展示の様子

展示内容

- ・ 関西大会 P R 映像放映



< 各府県政令市の映像 >



- ・ゴールデン・スポーツイヤーズ

大型国際スポーツ大会が3年連続で続くといったスポーツ分野の盛り上がりをグラフィックで表現



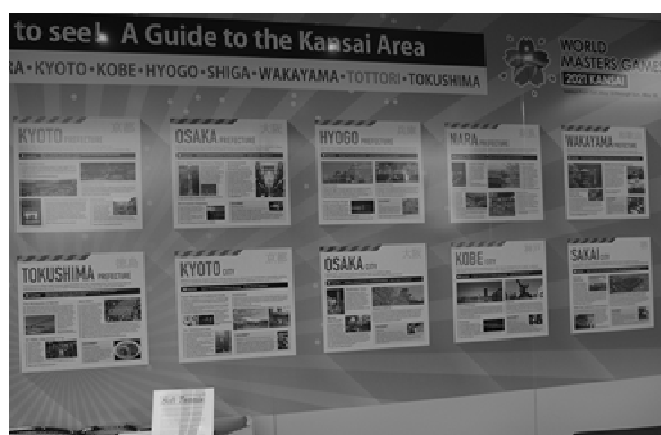
- ・WMG 2021 関西大会紹介コーナー

関西大会の競技種目と開催地を紹介したグラフィック



- ・自治体PR・競技紹介

グラフィックや展示物、パンフレット等を設置し、各府県市での競技種目と観光地の魅力をあわせて紹介



・ 日本伝統文化紹介・体験（折り紙）



・ 記念写真撮影コーナー

スタッフが来場者の撮影を手伝い、各自のSNSに投稿してもらった。



・ 日本独自のスポーツ体験・紹介



(2) オークランド大会日本人参加者による関西大会 P R 協力

オークランド大会に出場・参加される方で、一緒に現地で2021関西大会を P R いただける方を組織委員会 H P 及び F B で募集。

- ・登録人数：110人
- ・活動内容：大会 P R カード、ノベルティグッズ等を各競技会場で配布
大会 P R T シャツ着用
10キロマラソンスタート前イベントへの参加
各種メディアへの取材対応（大会前、大会期間中）

(表面)



(裏面)



5. その他広報活動

大会HP、フェイスブック、インスタグラム上で、オークランド大会の情報などをリアルタイムで随時配信するほか、スポーツ専門WEBメディアと連携し大会レポートを配信した。

○大会公式ホームページ

大会公式ホームページへのアクセスが、オークランド大会前に比べ2倍強となった。

2017年3月 48,721件

2017年4月 72,749件

2017年5月 111,445件

○大会公式フェイスブック

組織委員会の職員等がオークランド大会での競技会場や関西PRブース等の現地状況を映像・画像に収め、フェイスブックでリアルタイムに配信。

- ・大会期間中、約50記事配信（参加者インタビューなど）
- ・いいね！数 6,223件 → 7,193件

○メディア掲載概要 一部掲載記事については別添資料参照

掲載件数：テレビ報道	10件
新聞報道	19件
WEB掲載記事	264件

<主なもの>

- ・MBS番組「戦え！スポーツ内閣」：5月17日（水）放送
- ・MBS番組「ちちんぷいぷい」：5月17日（水）放送
- ・総合スポーツニュースサイト「The BORDERLESS」
大会期間中、14記事配信
- ・総合スポーツ誌「Number」関連
Number 本誌：6月1日発行号にてWMGについて掲載予定
Number WEB：4月25日、5月11日掲載
Number Do：6月23日発行号にて日本人参加選手の取材を中心に掲載予定
- ・国内むけプレス配信（組織委員会構成府県市記者クラブほか）
 - ・4月18日付 開会式団・閉会式団等スケジュール
 - ・4月22日付 鈴木大地スポーツ庁長官が10kmマラソンを完走
 - ・4月23日付 応援大使・武井壮さんがスカッシュに初参加
 - ・4月30日付 次回開催地は関西、森詳介会長が大会旗を引き継ぐ